**様式第１（３）**

特別地区内高山植物等（木竹、木竹以外の植物、

落葉又は落枝）の採取（損傷）許可申請書

　広島県自然環境保全条例第16条第４項の規定により　　　　　　　県自然環境保全地域の特別地区内における高山植物等（木竹、木竹以外の植物、落葉又は落枝）の採取（損傷）の許可を受けたく、次のとおり申請します。

　　　　年　　　月　　　日

申請者の氏名及び住所

法人にあっては、名称、住所及び代表者の氏名

　＿＿＿＿長　様　※庄原市域内以外

　広島県知事　様　※庄原市域内のみ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 目　　　　　　　　的 | |  |
| 場　　　　　　　　所 | |  |
| 行為地及びその付近の状況 | |  |
| 採取（損傷）物の種類 | |  |
| 施  行  方  法 | 採取（損傷）物  の数量 |  |
| 採取（損傷）  方法 |  |
| 関連行為の概要 |  |
| 予  定  日 | 着手 | 年　　　月　　　日 |
| 完了 | 年　　　月　　　日 |
| 備　　　　　　　　考 | |  |
|

（備考）

１　添付図面

(1)行為の場所を明らかにした縮尺1:25,000程度の地形図

(2)その他、行為の施行方法の表示に必要な図面

２　注意

(1)申請文の「　　　　　県自然環境保全地域」の箇所には当該県自然環境保全地域の名称を記入すること。なお、不要の文字は抹消すること。

(2)「場所」欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入すること。

(3)「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

(4)「採取（損傷）方法」欄には、使用器具の名称、採取（損傷）部分の別等を記入すること。

(5)「関連行為の概要」欄には、特別地区内で採取した木竹以外の植物を再度植栽・播種する予定となっている場合、時期及び場所等の詳細を記入すること。

(6)「備考」欄には、次の事項を記入すること。

ア　他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況

イ　土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はその見込み

ウ　過去に広島県自然環境保全条例の許可を受けたものにあっては、その旨並びに許可処分の日付、番号及び付された条件

エ　申請者以外に当該行為を行う者がいる場合は、その名前

オ　当該申請に関する連絡先（電話番号又はメールアドレス）なお、申請者と担当者が異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等を記載すること。

(7) 申請書の用紙の大きさは、日本産業規格（JIS）Ａ４とすること。